

バーリンガー・インゲルハイム ジャパン グループ



取組内容

- ・コアタイム無しのフレックスタイム制度
- ・国で定める祝日及び休日（土曜日）の場合、翌労働日を休日（カンパニーホリデー）とする制度（例：2017年 建国記念日、昭和の日、秋分の日、天皇誕生日）
- ・テレワーク勤務、完全型在宅勤務、時短勤務 など

社内推進体制

- ・ボトムアップで始まったイニシアティブに立候補で集まったプロジェクトチームを結成
- ・サウンディングボードの立ち上げ（IT、法務、マーケティング部門のリーダー）
- ・全社横断的にパイロットを実施。アンケートを毎月行い、結果をイントラネットで公開

運用上の工夫

- ・ **Design Your Day!** という“働き方改革”のロゴやキーワード、画像を作成
- ・ 場所、頻度、理由、申請を極力問わない、5分単位で利用可能 → 柔軟に
- ・ テレワークパイロットを2段階で実施し、迅速に改善しながら、1年で導入
- ・ 規程、説明資料、ガイドライン、FAQを作成し、イントラネットにページを新設
- ・ 30回以上の説明会を実施し、自署の確認書で社員の理解度を確認
- ・ 社内報やイントラネットによる時差Bizやテレワークデイの周知と社員への参加呼びかけ
- ・ コミュニケーションツールやテクノロジーをフルに活用
- ・ 月間総労働時間の50%以上の出社も同時に推奨（出張、オフサイトも含む）
 - 対面だからこそできるその場でのフィードバックによる育成、本人も気づかないわずかな変化に気付ける機会、カジュアルな会話や対話から生まれるひらめきやアイデア、信頼関係・チームワークの強化などの重要性も鑑み人と人との直接的な交流も同時に推奨する



効果・実績

生産性（オフィス勤務時と比較）

- ・ 仕事の質・スピードともに30%以上が良く・早くなった、60%以上が変わらないと回答

コミュニケーション（オフィス勤務時と比較）

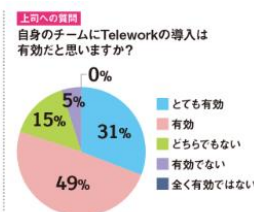
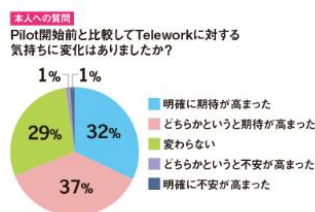
- ・ 量は60%以上が、質は約75%が変わらない、10%前後が増えた・良くなったと回答

期待

- ・ パイロット参加者の69%が期待が高まったと回答
- ・ テレワークは自分のチームに有効と回答した上司は80%

テレワークの良い点

- ・ 集中できる、効率アップ、通勤がなくて楽という回答が多数



- ・ 限られた時間で最大の成果を！
- ・ On/Off ともに“時間の質”を上げよう！

その他

- ・ テレワークは、2017年3月からのパイロットを経て、10月1日から正式に導入

問い合わせ先

バーリンガー・インゲルハイムジャパン株式会社

報道：広報部 03-6417-2807、人事：人事部代表 03-6417-2870